

# 交 通

## — リニアモーターカーが走る

弘化3年(1846)、わが国に初めて鉄道に関する知識がもたらされましたが、それから約160年後の平成17年(2005)、名古屋市名東区藤が丘から豊田市八草間8.9kmで、わが国初の磁気浮上式リニアモーターカーであるリニモ Linimoが営業を開始しました。また、平成22年(2010)の12月には、国土交通省の審議会で、中央リニア新幹線に関する「中間とりまとめ」が公表されました。

今回の議会図書室特集資料コーナー展示は、「交通—リニアモーターカーが走る」と題して、より身近になった磁気浮上式リニアモーターカーについて、図書室所蔵の関係資料をご紹介します。

みなさま、是非ご覧ください。

※ 資料の記載事項:タイトル(シリーズ名)/著编者(出版者)

### ◆リニモ Linimo が走る!

東部丘陵線建設誌 / 愛知県尾張建設事務所東部丘陵工事事務所

(愛知県)

東部丘陵線—リニモ Linimo の構想から、2005年の日本国際博覧会「愛・地球博」開催にあわせた開業に至るまでの経過をまとめたもの。第1編「東部丘陵線の概要」から第6編「開業」及び巻末資料(建設年表など)から構成されています。

2005年日本国際博覧会 愛知県記録誌 / 愛知県国際博推進局

(愛知県)

平成17年(2005)3月から9月の間、名古屋東部丘陵(長久手会場・瀬戸会場)で開催された2005年日本国際博覧会「愛・地球博」の概要・愛知県の出展・市町村や県民の活躍などをまとめたもの。第8章「開催県としての取り組み」の第2「2005年日本国際博覧会関連事業計画の推進」の中で、東部丘陵線の整備について解説しています。万博会期中、リニモについては約1,970万人の利用がありました。



### ◆リニモ Linimo 沿線の取組

リニモ沿線地域づくり構想 / 愛知県・瀬戸市・豊田市・日進市・長久手町

(愛知県)

名古屋東部丘陵に位置するリニモ沿線地域は、愛知県立大学・愛知県立芸術大学を始め多数の大学や研究機関などが立地し、未来へ向けた学術研究・開発の拠点となっています。愛知県及び沿線市町において、こうした特性を有する地域を結びリニモを活用して、新たな地域づくりと発展のために共同で構想したものをまとめたもの。

共同図書環(館)のネットワークシステムの構築と新たな教養教育プログラムの開発 事業報告書 / 愛知県立大学・愛知県立芸術大学・愛知淑徳大学・名古屋外国語大学・名古屋学芸大学・長久手町・愛知県図書館

(愛知県立大学)

国公立大学間の積極的な連携を推進し、各大学における教育研究資源の有効活用を図り、地域の「知の拠点」として、さらなる教育研究水準の高度化・相互補完の強化等を目指す文部科学省の「戦略的大学連携支援事業」の一環として、愛知県立大学を始めリニモ沿線の公立大学、長久手町及び愛知県が共同で取り組んでいる図書館ネットワーク事業などに関する平成20年度報告書。なお、本事業の事業期間は平成20年度から平成22年度。

◆リニモ Linimo 沿線を知る

Linimo リニモ沿線マップ / 愛知県地域振興部交通対策課

(愛知県)

名古屋市名東区藤が丘から豊田市八草までのリニモ沿線の地図と観光名所を掲載。秋ヶ池公園や古戦場公園などの公園を始め、名都美術館・トヨタ博物館・長久手町文化の家などの施設・名勝・旧跡などリニモ沿線の見どころ21ヶ所を紹介しています。



◆わが国の国土交通行政

国土交通白書2010：平成21年度年次報告 / 国土交通省

(日経印刷)

平成22年7月、閣議決定され公表されたものの市販版。第1部が「転換期を迎えている地域・社会と国土交通行政」と題して、大きな変化の中にあるわが国の経済社会や地域において今後求められる国土交通行政について記述するとともに、第2部では国土交通行政の動向を政策課題ごとに報告。第2部の第5章「競争力のある経済社会の構築」の第1節「交通ネットワークの整備」の中で、新幹線鉄道の整備や超電導磁気浮上式鉄道(超電導リニア)について触れています。

◆時速500kmでリニアが走る！！

LINEAR CHUO SHINKANSEN：時速500kmで近づく未来 / リニア中央新幹線建設促進期成同盟会  
(リニア中央新幹線建設促進期成同盟会)

東京都・神奈川県・山梨県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県・奈良県と大阪府の9都府県で構成される促進期成同盟会がまとめた超電導リニア中央新幹線に関する小冊子。超電導リニアの特徴などを簡単に紹介するとともに、山梨リニア実験線の概要などを掲載。リニアへの取り組みが半世紀前(1960年)からスタートしたことがわかります。

交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会中央新幹線小委員会 中間とりまとめ / 同委員会  
(国土交通省)

平成22(2010)年12月15日に公表された国土交通省の交通政策審議会小委員会の中間とりまとめ。中央新幹線について、今後の議論の基本的事項の方向性を示すものです。参考資料が充実しています。

雑誌『地域開発』Vol.555(2010年12月)特集「リニア中央新幹線と地域開発」  
(財団法人日本地域開発センター)

掲載記事：

- 中央新幹線の実現に向けた現状と今後の展望 / 中橋宗一郎
- リニア中央新幹線と地域開発の方向性 / 森地茂
- リニア中央新幹線の必要性和問題点を考える / 橋山禮治郎
- リニア中央新幹線がもたらす効果と地域づくり一考 / 加藤義人
- リニア中央新幹線と相模原市の取り組み / 大野友和
- リニア交通時代と山梨——ホップ、ステップ、そしてジャンプ / 花岡利幸
- 地域の先人の思いを未来に紡ぐ——南信州(飯田下伊那)のリニアへの取り組み / 牧野光朗
- リニア中央新幹線と東濃東部 / 丸山輝城

以上の他、関連チラシ・パンフレットなどを展示しています。